

三法人設置校 平成18年度の取組み  
それぞれの特色を生かした学校改革を

March  
Vol.24

# 楽人



教育界では現在、さまざまな側面から規制緩和の波が押し寄せており、変化を迫られた全国の学校は、猛スピードで改革事業を進めています。しかし一方で、少子化をはじめとしたさまざまな影響による学校の経営環境の悪化に関するニュースが報じられており、文部科学省では学校が破綻した場合を考えた「経営困難な学校への対応方針」もまとめられています。 楽人では、教育界にとって非常に厳しい社会情勢の中で、新たな躍進を目指す谷岡学園および姉妹法人各設置校の平成18年度における取組みを紹介いたします。



## 特 集

# それぞれの 特色を生かした 学校改革を

School reformation  
三法人設置校 平成18年度の取組み

## contents

# 楽人

Gaku  
jin

特集

それぞれの特色を生かした学校改革を

三法人設置校 平成18年度の取組み

大阪商業大学／神戸芸術工科大学

大阪女子短期大学／大阪女子短期大学高等学校

大阪商業大学高等学校／大阪商業大学附属幼稚園

中京女子大学・同短期大学部／至学館高等学校

中京女子大学附属幼稚園／大阪商業大学堺高等学校

トピックス

大商大 ウォームビズ成果報告

OBPコース1期生 集大成は「ルーズリーフ」

学校の安全を考える

ニュース&スタイル

瓢箪山でOBP生がイベント実施／一期生の卒業制作展 大商大高校  
芸工大卒展「カオス2006」／囲碁とその仲間たち展 大商大

クリティ・オブ・ライフ／現代「居場所」考／  
編集後記

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2



表紙の写真

表紙の写真は、平成18年3月25日にテープカットを終えた、大阪商業大学新校舎(第一期工事完了)。快適な学び空間を備えた、フレキシビリティ高い学舎が今春始動します。

Gaku  
jin

# 大阪女子短期大学

教職員・学生が共に成長し、理想の教育をつくる



**本学**では「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とし、その実現のために①思いやりと礼節②基礎的実学③柔軟な思考力④楽しい生き方、以上「4つの柱」が掲げられています。このように人間形成の目標とそれに向かうための柱が示されていることは、人づくりを実践する本学にとって幸いなことです。

さて、この「4つの柱」は単なるスローガンや説教の言葉として存在するのではありません。すべての授業と学生生活を通して、学生の血となり肉となるものにななければなりません。

そこで今年度は「4つの柱」の中から、「思いやりと礼節」を取り上げ、言葉の意味を教職員がもう一度見直すとともに、学生への理解・浸透を目指し、取り組んでいきたいと思います。

次に教育力の向上についてですが、授業が学生への知識伝達だけを目的に行われるはいけません。授業というものは、生涯にわたって生きて働くための智恵と、それをうまく活用する力を学生に与えられねばなりません。そのためにはカリキュラム及び各授業の内容と方法の検討や、学生が授業にのぞむ際の態度の育成等も行わなければなりません。

## ※受講態度育成のための取組み

- ・何を目指してどのように学びを進めるのかを、学生自身がしっかり意識して授業参加するように、シラバスの活用も含めて指導します。
- ・「休まない」「遅れない」をモットーに、すべての授業を1回1分たりとも無駄にしない思想を教員・学生双方で確立します。

今年度より教育研修センターが学生指導の場所として加えられました。このことにより少人数の授業も設定できるようになり、一人ひとりの学生をより大目に指導できる体制が整いました。また、多数の学生を対象としていた講義を可能な限り分割して実施し、集団の中に埋没して座っているだけの学生が生じないようにします。また教員一人ひとりの教授力向上のための委員会を発足させます。まず、全教員が謙虚に自分の授業を点検し、反省することを始めなければなりません。その上で、皆が相互に切磋琢磨しながら自己の教授力を向上させる環境作りに意を注ぎます。



# 大阪女子短期大学高等学校

## 新しい教育で、新しく生まれ変わります

**本校**におきましては、平成15年度から3コース制並びにウインターフェッショントという新しい学期制により、教育を進めてまいりました。しかしながらコース制により、中学時代という早期に将来の進路選択を迫ることの是非、進路目標達成のために受験に必要な科目以外の教科を軽視するといった現在の高校教育界全体の大変な流れに疑問を感じるようになりました。

建学の理念「世に役立つ人物の養成」に基づき、生徒たちの卒業後の将来を見据え、豊かな人生を送るために、我々は本当に必要なものを育むことを考えなければなりません。それは受験のためだけの一歩に偏った教育でもなく、職業に直結した技術や技能だけを学ぶ教育でもありません。そこで我々は、幅広い教養がバランス良く身につく教育こそ大切であると考え、平成18年度入学生からコース分けをせず普通科へと新たに改編し、次に掲げる取組みを実践いたします。

- 礼** = 社会人・1人の女性として必要な常識、礼儀作法を身につける
- 穂** = 生きていく上で必要な基礎学力をバランス良く身につける。
- 嗜** = 人生を豊かにする教養を積み、茶華道などの嗜みを身につける。
- 創** = 自分を再発見し、前向きに生きる力・創造力を身につける。
- 絆** = 親と子・学校との連携を深め、保護者の方とともに学校生活をつくる。

普通科では、「茶華道」「コーラス」「生活の書道」といった新しい科目の他、コース制で培った徹底した習熟度学習、ネイティブスピーカーだけによる英会話学習、体系的な進路学習プログラム、受験指導のノウハウなど多くの経験を全ての生徒へと還元すべく、取り入れています。

また2・3年生については、各コースの目標達成に努めます。特別進学コースにおいては1・2年次の学力に加え、学校設定科目で学習できるシステムを生かし、難関私立大学への合格を目指します。英語コースにおいては1年間留学して得た会話力を生かし英検2級合格、TOEIC 550スコア合格、さらに国語力の強化を図り外国語学部への合格を目指します。総合コースにおいては基礎学力を身につけ、1年次からの計画的な進路学習により自己の進路目標である大学・短期大学・専門学校の合格を目指します。また保護者と学校の絆を大切に考え、密な連携をはかり、学校評価に関するアンケートに協力していただき、課題・強み・弱みを見つけたうえで在校生や保護者の学校満足度を高めてまいります。

最後になりましたが、他の公私立高校と同様志願者確保が極めて難しくなっています。この厳しい社会環境を踏まえ、特色や目標を実際に成果として示し、社会に認められるよう努めてまいります。



# 大阪商業大学

## 大学で学ぶ**体感**

### ・キャリアアップと社会参画へのルートづくり・を



**日** 本では少子・高齢化が急速に進んでいるが、東アジアの諸国の中でも同じ状況が起きている。また、グローバリゼーションがすすみ、各地域・国の経済状況の劇的変化と厳しい文化・経済摩擦が起きている。このような状況で、本学が求められるのは、そして心しなければならないのは、建学の精神、特に4つの指標を教育課程、課外活動など学生生活すべてでいかに人材育成に生かすべきである。

(1) 犯罪をはじめとして地域環境の悪化は、世代が連携して取り組む課題であって、教室の内外で「**思いやりと礼節**」を体得させる取組みをおこなう。その取組みは、学部および大学院の改組に結びつける。

(2) 「大学で学んでいる」これを体感させるには、特に1・2年次での密な実感できる教育の展開が必要である。その教育システムと技法の開発、さらにその評価を行なうことが求められる。「**基礎的実学**」の具現化である。

(3) 資格取得や特定の職種に必要な学問の賦与を4年間にわたって展開し、社会参画の道をつける取組みを制度化・高度化する。キャリアアップへの積極的な取組みである。

(4) 世界の中で、世代間で異なる「生き方」「考え方」を持った人びとの交流なくして、寛容で「**柔軟な考え方**」をもった人材を養成することはできない。そのため、座学だけでなく、インターンシップ、学生や教員などの海外研修を含む国際交流、地域の企業家・経営者との交流といった多様な社会体験プログラムを実施、学生の社会参画の意欲とルートづくりをおこなう。

特色GPは、学生に「勇気を与える、ベンチャースピリッツを養う」本学の取組が評価された証である。この取組を充実(国際レベルでの展開など)していくことが学生に意欲を賦与するひとつの道である。

(5) キャリアアップ、国際交流など社会参画の基礎は、教育課程と教職員の積極的な取組みである。第3者評価もはじまり、他者の評価を率直に受け止め、本学で学ぶ学生をはじめ教職員が生き生きと楽しく活動することが学生の成長にとって最も重要である。「**楽しい生き方**」をのびのびと展開できる学園づくりを目指す。



厳しい時代ほど、基本を忘れてはならない。基本を大事に、しかも社会の変化に対応しつつ学生の将来に視野を広げた対策・取組みを展開する。

Seiryogakuen

Chukyojoshidaigaku

Taniokagakuen

# 神戸芸術工科大学

- ・先端芸術学部(メディア表現学科、造形表現学科)の開設
- ・「神戸アート・ビエンナーレ07」開催準備への協力
- ・日・中・韓の3国3大学連携プロジェクトの推進

**神** 戸市西区学園都市の中にある神戸芸術工科大学キャンパスの入り口の傍には、今年の5月に竣工を予定している新しい校舎が完成間近の姿を見せています。

3年前から設立に向けて準備を重ねてきた先端芸術学部がいよいよスタートする時がやってきました。この新しい学部には、写真・3D-CG専攻、映画専攻、マンガ・アニメーション専攻をもつメディア表現学科(入学定員60名)と、造形美術専攻と現代クラフト専攻からなる造形表現学科(同70名)の2学科が含まれます。

新学部を立ち上げた目的は、18年前の大学設立の理念を更に発展させ、21世紀社会のニーズに的確に応えるため、教育・研究組織の全面的な見直しを行なうものです。そのため、既設のデザイン学部についても大幅な改革を行っています。とくにビジュアルデザイン学科は教育スタッフの半分以上を入れ替え、カリキュラムも一新して新設学科に近い充実を行いました。あわせて基礎教育も、変化にとんだレパートリーの教養科目と強化したコンピュータ科目を揃えて充実させています。

昨年11月に、本学が中心になって開催したシンポジウム「神戸=芸術文化都市の飛翔2005」をきっかけ

けとしてスタートした、2007年度の開催を目指す神戸アート・ビエンナーレについては、神戸市内で唯一の芸術系大学として、本学が中心的な役割を担っていくことにしています。またこれを機会に、地域に根を下ろしたさまざまな活動をこれまで以上に活発化させようとしています。

一昨年、昨年と続けて大学間交流協定を締結した中国の北京理工大学および韓国の東西大学とは、去年の夏に中国において3大学共同の調査研究を実現させるなど連携を強めており、来年度は韓国において大学院の授業を共同実施するなど、さらに交流を深めていく予定です。また、今年度にはじめて取り組んだ海外入試(北京)を、来年は博士後期課程まで広げて行います。

現在完成しつつある新しい校舎には、教室、研究室、実習室、工房などの教育研究施設のほかに、500人収容できるホールと学生たちの作品を展示できる広いギャラリーおよび洒落たカフェがあり、地域を含めた大学開放の拠点となります。また、キャンパスのイメージをいっそう明るいものにするために、様々な環境整備をする予定です。リニューアルされた芸工大にぜひ足をお運びください。



# 中京女子大学・中京女子大学短期大学部

## 2世紀目における中女のチャレンジ

二

世紀目の扉を開き、歩み出した中女。本学の学風である「元気・明るさ・たくましさ」で「自ら未来を切り拓く女性」を育成しています。

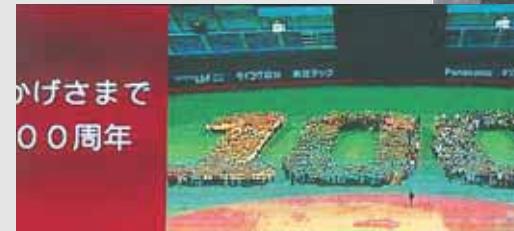
特に、今年度は日本初となる大学女子硬式野球部「中女パフス」が愛知大学野球連盟のリーグ戦にいよいよ参戦します。昨年の創部以来、練習に励んできた選手達が、試合で他大学の男子学生を相手に活躍が期待されます。

また、5月20日・21日には「女子レスリングワールドカップ」が初めて名古屋で開催されます。東京以外で開かれる日本最初のレスリングの国際試合に本学は積極的に参画しています。これは一昨年のアテネオリンピックにおける本学学生の金銀3メダル獲得というめざましい活躍と地元の熱意によって開催が決定したものです。当大会での本学の学生、卒業生の活躍が大いに期待できます。

その他、本学の研究機関である伊達コミュニケーション研究所は地域と密着した実践的公開講座の提供やグローバルな視野を持った研究発表活動を行ってきましたが、学園創立百周年を機に原点に立ち返り、多種多様なコミュニケーション能力の重要性を問い合わせ、広域に呼びかけ、浸透できるよう活動を

してゆきます。今後、心も頭もやわらかく、人と人を繋ぐ活発な機関を目指すとともに、学園の研究機関として、本学に開設されている他の研究機関（健康科学研究所、子ども文化研究所、アジア文化研究所）や各設置校の連携、学内・学外の橋渡し役としての機能を充実させていきます。

各学部・学科のカリキュラムを通じ、教育理念である「心身共に健全でたくましく英知と創造性を持って、人生を積極的に生きる女性の育成」を追求し続け、これからも学生が名実ともにキャンパスの主人公である「学生本位」の教育重視型大学として取り組むとともに、学生達の「人間力」を育て、その時代に役立つ卒業生を輩出し続けていきます。



Seiryogakuen

Chukyojoshidaigaku

Taniokagakuen

## 至学館高等学校

### 「2世紀目の扉」を開き、大きく前進へ



至

学館高等学校にとって男女共学元年となった平成17年度は、男子生徒99名を迎えた入学式になりました。今まで耳にすることの無かった、太い声での「おはようございます」にびっくりした先生方も、今はそれが当然と受け止められるようになりました。

2学期の終わりにアンケートを行いました。これは1年生がどんな気持ちで学校生活を送っているかを知った上で、教職員の次年度の課題を探すこと目的とするものです。その結果「本学に入学して良かった・まあまあ良かった」という回答が、男子82%・女子86%でした。まずはこの結果に「ほっ」とすると同時に、100%を目指さねばと、我々は決意を新たにしたところです。

また部活動には男子の85%・女子の77%が参加しています。そしてその活気が健全な教育環境形成の一助となっていることは、アンケートが示しており、我々もたいへん嬉しく思っています。

平成18年度入試は、受験者数で昨年度より約200名増の2000名を超える、入学者数も平成17年度に引き続き500名ほどが予想される状況です。愛知県において其学に変更した高校には「共学化2年目は前年度より受験者数が減る」というジンクスがありました。しかし我々は、「このジンクスを打ち破ろう」をス

ローガンに1年間、教育活動・渉外活動に取り組んでまいりました。そしてそれは、前記いたしましたアンケート結果を含む、私達教職員を励ましてくれる成果を残すことができました。

さて、本年度は100周年の節目を迎える「2世紀目の扉」は大きく開かれました。平成18年度は至学館高等学校2年目として、様々な分野での飛躍が期待されています。課題としてはアドバンスコースの本格的受験体制充実、留学コースの初年度実績の紹介と発展、中京女子大学でのスポーツサイエンスコースと家政科（生活デザインコース）の提携授業開始、進学コースの補習充実、商業科（総合ビジネスコース）のジュニアインターンシップの実施などがあります。さらに部活動の分野では、文化部の部員増加、男子運動部の公式試合への本格的参入もあり部活動全体が今、活性化してきています。

教職員がひとつになり生徒と共に、至学館高等学校2年目を実りある一年にしたいと考えています。



# 大阪商業大学高等学校

## 課題改善に努め、質の高い教育を実践

コース制と男女共学を導入して、3年が経過しました。この間も一層の少子化が進む中、定員に近い入学生を迎えることが出来ています。また、受験者数も3年続けて1000人を越え、中学生と保護者から一定の評価を得ているものと受けとめています。しかし、現状に満足しているわけではありません。なお一層、質の高い教育を提供することで、成果に繋げる努力を継続せねばなりません。

これまでの努力の結果、大阪商業大学122名、神戸芸術工科大学6名の合格をいただきました。また、系列大学以外では、京都産業大学1名、龍谷大学1名、近畿大学14名、明治大学1名、大阪工業大学2名、大阪産業大学20名、桃山学院大学6名などの合格も果たしています。その他にも、デザイン部門では、各種コンペの入賞者数が昨年比倍増し、中でも全日本デザインコンペで最優秀賞(1位)と優秀作品賞(2位)を独占。全商簿記検定では一級原価計算科目合格者7名(2年生)、また、英語検定では準2級合格者9名などの成果も出ています。

昨年の課題としてあげたシラバスの作成も順調に進み、オリエンテーション冊子に掲載できる運びとなっています。

一見順調ですが、その一方で課題は増えています。各コース総括で示された問題点・改善策を一つずつ検証し、実践する年にしたいと思っています。

昨年度はデザイン表現コースだけでなく、プログラマコースにも多くの女子を迎えるべく整備したつもりでしたが、女子の専願受験者数は増加していません。本年は、この課題の克服に取り組みます。本校は伝統的に運動系クラブが活発です。そんな中、女子生徒が入学したこと、家庭科クラブや美術クラブが活発な活動を展開するようになっています。これによりスポーツのみならず、文化の薫り高い学校にするという課題も自動的に克服できる可能性が高いと考えています。

生活指導面では、遅刻を減らす取り組みを継続すると共に、思いやりと礼節を前面に押し出して、これまで以上に挨拶やマナーを向上させます。

昨年度は、外部講師による教員研修を行いました。5年後、10年後に備えて、いかに学校・教員の実力を向上させるかについて、大いに参考になりました。本年は更にテーマを絞り込み、実施する予定です。

Seiryogakuen

Chukyojoshidaigaku

Taniokagakuen

# 大阪商業大学附属幼稚園

## 危機管理意識を高め、教育活動の点検と改善を実践

幼稚園は園児にとって全くの安全な場所でなければなりません。本園は、いろいろな災害を想定し、それらへの対応策を数年かけて積み上げてまいりました。今年度は不審者の園内侵入という危機に対応するべく、不審者を園児に近づけない器具の整備と迅速な対応策を確立しました。

そして次年度は、次の計画を実践いたします。

- 幼稚園が実施している安全確保の取組みを保護者に説明し、“安心できる幼稚園”という定評が保護者の間で今以上広く流布されるよう努めます。保護者の信頼が強くなることは、幼稚園での教育力向上へつながっていきます。日本の教育荒廃の原因の一つは学校不信にあります。保護者が学校を信頼すれば、自ら分担すべき家庭教育の質も高まり、学校と保護者の教育上の協力体制が確立するのです。

- 園庭遊具（ブランコ等）をより安全なものに改修します。

- バスケットゴールや焼却炉等不要なものを撤廃し、園児の活動範囲を広くすることにより、今以上に安全を確保します。

建学の理念「世に役立つ人物の養成」がパンフレットに掲げられているだけで、日々の保育実践と切斷されてはいけません。本園では①思いやりと礼節

②基礎的実学③柔軟な思考力④楽しい生き方を、幼児教育の立場から取り入れ、毎日の保育の中で具現化することを7年前から取り組んできました。そこで次年度は「思いやりと礼節」にテーマを絞ったうえで、今までの教育活動に対する自己点検に基づき、保育内容を次の視点で検討します。

(ア) 思いやりの心を育む保育活動が行われているか

- ・他者と細やかに接し、気持ちを察し、理解し受け入れる心
- ・他者と交流し、共感し、協力し、調和を図る心
- ・周囲のすべての人や物に愛着を持ち、大切にする心
- ・感謝の心



(イ) 礼節を身につける保育活動が行われているか

- ・生活のリズムを確立する
- ・いろいろな挨拶ができるようにする
- ・いろいろな“約束ごと”を守ろうとする

次年度より本園のホームページを開設し、幼稚園が行う教育内容がより正しく理解され、保護者をはじめ多くの方々からご支援いただけるよう、努力いたします。

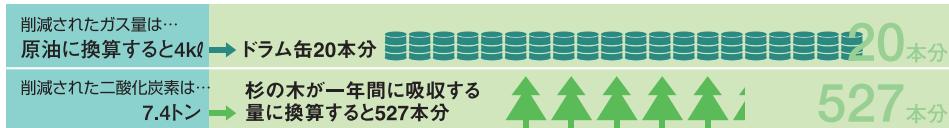
# WARM BIZ



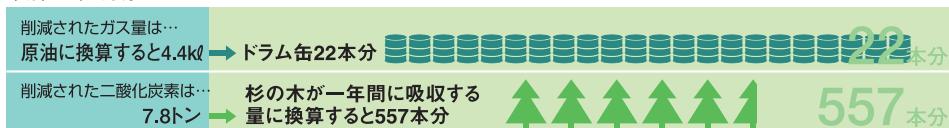
## 大商大 ウォームビズ 成果報告

(暖房設定温度21度)

### ■成果報告 平成17年12月分



平成18年1月分



校や企業がその活動を進めるにあたって、地球的規模の環境問題である「地球温暖化」と、それに伴う水光熱費の増加は切り離すことのできない問題です。そこで大阪商業大学では今年度、暖房設定温度を昨年度の23度から21度(ウォームビズ)に変更し、一定の成果が出ましたので報告いたします。



校や企業がその活動を進めるにあたって、地球的規模の環境問題である「地球温暖化」と、それに伴う水光熱費の増加は切り離すことのできない問題です。そこで大阪商業大学では今年度、暖房設定温度を昨年度の23度から21度(ウォームビズ)に変更し、一定の成果が出ましたので報告いたします。

### 「地球に優しいキャンパス」を目指して

(大阪商業大学)

今回、本取組みを実施するにあたり大阪商業大学学事課では、一年前から他大学に省エネの取組み状況のアンケートをとる等準備を進めてきました。そして我々は、環境問題を考え、省エネルギーに取り組み社会に貢献することは、教育機関である大学として必要不可欠と考え、「地球に優しいキャンパスを目指して」をスローガンに、学生および教職員の皆様の協力を得ながら、一定の成果を生むことができました。



### ウォームビズとは

地球温暖化防止のため、暖房時のオフィスの室温を20°Cにすることを環境省から呼びかけられています。“寒い時は着る”“過度に暖房機器に頼らない”そんな原点に立ち返り、“暖房に頼り過ぎず、働きやすく暖かく格好良いビジネススタイル”それが「WARM BIZ」です。

### 暖房設定変更の効果

暖房設定温度を21°Cから20°Cにした場合、年間で1家庭あたり約25.7kgの二酸化炭素を削減することができます。日本では年間の暖房日数の方が冷房日数よりも多く、外気温と室温との差が大きいため、冷房設定温度を27°Cから28°Cにした場合の年間約5.9kg削減に比べ、約4.4倍の削減效果があります。

※省エネ効率の良い空調や電化製品など、冬の暖房に頼り過ぎないワークスタイルづくりに協力している企業・団体として、環境省にも登録されました。  
参照URL  
[http://www.team-6.net/warmbiz/style/company/comp\\_k.html](http://www.team-6.net/warmbiz/style/company/comp_k.html)



# OBP COURSE



## OBPコース1期生集大成は「ルーズリーフ」



### ■集大成はルーズリーフ

OBPコース1期生の代表的な取組みは、今まで学修した知識やスキルを活用した“大商大新キャンパスグッズ”的企画および販売。プロジェクトを立ち上げ、2年間にわたる試行錯誤を重ねた結果、新キャンパスグッズ「ルーズリーフ」の販売に至った。

発売当時の目標販売数は、昨年大商大で販売されたルーズリーフ数の4倍にあたる789部。しかし販売期間の約半分の日数で目標数をクリアしたため、急遽その数字を1200部に変更。学位記授与式前日まで販売を行った。

成14年に開設された、大阪商業大学OBPコース(大阪商業大学ビジネス・バイオニアコース)が完成了。本コースの目的は起業や企業経営、産業に関する実践的な科目を配置し、起業家精神あふれる人材を育成すること。高度な情報技術を駆使し、グローバルビジネスを開拓できる行動力、そして時代を見抜く鋭い先見性や、新しいビジネスを生み出せる能力を身につけて彼らは、まもなく実社会でその力を発揮します。



成14年に開設された、大阪商業大学OBPコース(大阪商業大学ビジネス・バイオニアコース)が完成了。本コースの目的は起業や企業経営、産業に関する実践的な科目を配置し、起業家精神あふれる人材を育成すること。高度な情報技術を駆使し、グローバルビジネスを開拓できる行動力、そして時代を見抜く鋭い先見性や、新しいビジネスを生み出せる能力を身につけて彼らは、まもなく実社会でその力を発揮します。

## 中京女子大学附属幼稚園

毎日の園生活が楽しくなるように  
子ども達のしあわせを願って

中

京女子大学附属幼稚園のモットー『のびのび・すくすく・たくましく』のもと、人生に大切な健康・意欲・忍耐力・思いやりを育てています。そしてそれに豊かな人間関係のなかで子どもたち一人ひとりが大切にされ、その生活と発達を保障することが大切です。

中京女子大学附属幼稚園では子どもたちがやる気を持って活動に取り組み、その中からたくましさや思いやりが育つようにと願って、教育活動を組み立てています。子どもたちにとって必要な生活習慣を身につけさせ、子どもたちの自主性・集団性を伸ばし遊びを定着・発展させられるように、また楽しく身体を動かしながら仲間と共にできる活動や良い文化に触れる活動、原体験を大切にする活動を取り入れています。そしてその中心になるのが総合活動です。

総合活動は幼稚園の園生活の中心になるもので、特徴はクラス単位・学年単位だけでなく異年齢の園児が混在する縦割りグループも単位として集団でかかわり、一定期間続く活動です。具体的には合宿・運動会・あきまつり・劇の会などの行事を通じての取り組みや日常保育の中では、木工作・竹馬・砂遊びなどがあげられます。また、感性を養ったり運動能力を高めるための活動として、音楽リズム・絵画造形・体育(リズム運動)・ことば(文字、文学)・数(量)・自然認識(散歩、飼育栽培)・調理活動などがあります。

我々は大学附属の幼稚園として、大学の研究と附属幼稚園の教育を関連づけ、実践しており、子どもたちにとっても学生たちにとっても、より充実した教育を創り出しています。

本日は、毎月一回全園児が集まって、皆でお祝いする誕生会でした。そこではその月の誕生児一人ひとりがそれぞれ発表を行います。年少さんはクラスと名前と好きな食べ物を、年中さんはクラスと名前と大きくなったら何になりたいかを、年長さんはクラスと名前と生年月日、それに家の人聞いてきた「自分が赤ちゃんの頃、どんな子だったか」を発表します。舞台の上の発表は、時々恥ずかしくなってしまう子もありますが、自分の誕生会での発表を心待ちにしている子が多いです。

子どもたちは一年の締めくくりの大きな行事「劇の発表会」において、人前で話すことを多く経験したせいか、誕生会での発表を立派にできた子が多く、頼もしく感じました。

我々は「聞く教育」と「話す教育」を基盤に、できない子はできるように、できる子はさらにその能力を伸長できるように努めます。

次年度以降も子どもたちの日々の成長が確かな力になるように、更に親切で丁寧な教育を心がけていきたいと思います。

どの子も幸せな人生になりますように。

Seiryogakuen

Chukyujoshidaigaku

Taniokagakuen

## 大阪商業大学堺高等学校 教養と人間力、バランスの取れた教育を実践

本

校は平成17年度、男女共学及び新しい4コース制(特進エキスパート・特進アドバンス・グローバル・スポーツ)の新大商大堺として345名(定員320名)の新入生を迎えて再出発いたしました。しかし共学校として生まれ変わったとはいえ、女子の占める比率は全校生徒のわずか7.5%(729名中、55名)に過ぎず、このことからも女子の諸活動が低調になるのではと危惧しました。しかし新学期がスタートすると、少人数であるにもかかわらず女子生徒の活動は非常に活発で、体育祭や文化祭の雰囲気を大きく変えてくれました。日常の授業等でも質問や意見を述べることは女子が活発であり、発表内容も多彩で非常に興味深いものもあります。つまり4月に我々が抱いた危惧は杞憂に終わったのです。

平成17年度から本校は改革2期目に入りました。入学生の増加を一過性のものにしないための、新たな取組みとして、非常勤講師も含めた全教員による公開授業を年間2回行いました。そしてさらに教科会では公開授業に関する意見交換を行いました。次に特進コース(6クラス)の授業時間確保のため1学期末・2学期末それぞれ考查終了後に、27日間の特別編成授業(3教科・6科目)を行いました。また、国・英・数の3教科で単元毎の確認テストを行い、授業中に行えない場合は担任の協力を得て早朝に実施

しました。また基準に達しない生徒には、放課後マラソンテストを、数日間にわたり夜の8時頃まで行いました。このように本年度は教科学習の目的とした教育活動を展開いたしました。

次年度は教科活動のさらなる充足を実現したいと思います。本校は特進コースにおいて生徒は増加しており、それに伴う各教科の受験指導力の向上は、本校の生命線になりうると考えます。そのため各教科が行う大学の入試問題やセンター試験の分析を、授業にしっかりと反映できるようなシステムの構築や、センター試験リスニング対応の進学講座(ネイティブによる)の開設を予定しています。また、学習意欲を高める授業計画の作成、本校の教職員のみならず保護者も対象とした、一層の工夫を凝らした公開授業の開催なども検討しています。また保護者には本校の改革を進めるため、学校評価の協力を得たいと思っています。その他地域と連携して貢献できる学校になるための活動や、通学マナーの向上など、人間力育成にも力を注いでまいります。

以上のように次年度は、大商大堺高校の門をくぐった生徒の学力は言うに及ばず、体力、技能、人間としての生き方まで伸長できる学校づくりを目指します。





ユニークな作品が並んだ

## 芸工大卒展「カオス2006」

平成18年2月24日～26日、神戸市六甲アイランド内神戸ファッショント美術館において、神戸芸術工科大学卒展「カオス06」が開催された。

25日に行われた選抜研究発表会では、学生生活の集大成として興味深い研究成果が次々と発表され、また熱のこもった質疑応答も行われた。発表の中には、生徒が考案したオリジナルキャラクターの“着ぐるみ”が会場に登場し、客席を歩きまわるといったユニークな演出も行われ、会場を埋めた人々の笑いを誘った。

### 吉武賞一覧（人名敬称略）

「不安な世界の絵本—少女—」	黒崎 由梨 ビジュアルデザイン学科
「VITAL ENERGIES」	高岸 ともみ ファッションデザイン学科
「紙むシ—kamimushi—」	和田 恭佑 プロダクトデザイン学科
「都市の肺」	金谷 聰史 環境デザイン学科
「一枚の布を用いた衣服制作 —「皮膚と一体化する衣服」と 「空間を孕む衣服」—」	襄 修演 大学院

## 囲碁とその仲間たち展 大商大

平成18年1月14日～2月11日、大阪商業大学アミューズメント産業研究所主催の特別展示「囲碁とその仲間たち展」が開催された。今回で5回目となる同研究所の展示会では、日本をはじめアジア諸国で古くから使われている碁盤・碁石や、ヨーロッパやアメリカなどで庶民に親しまれている西洋碁（チェック）、マンカラと呼ばれるアフリカ碁など約300点が並んだ。

また、本展示会にあわせて、大阪商業大学では「小・中・高校生合同早碁大会」等の囲碁イベントも行われた。1月15日にユニバーシティホール蒼天で開催された「公開囲碁対局」では、谷岡一郎大阪商業大学学長が登場。詰め掛けた囲碁ファンの前で、その腕を披露した。



## 一期生の卒業制作展 大商大高校

去る平成18年1月31日～2月4日の間、大阪商業大学高等学校デザイン表現コース生の卒業展示会が、大阪商業大学「蒼天」1Fホワイエにて行われた。今年で開設3年目の完成年度を迎えた同コースとして、初めての卒業展示会となつた。

「時の経過は早いもので、一期生がもう卒業します。卒業後、人それぞれ進む道は違いますが、芸術・デザインに触れたかけがえのない3年間を大切に、これからも頑張ってほしい」と教員の領家氏は目を細める。

最近本コースでは、高校生クラスのデザインコンペなどで、多数の受賞者を輩出している。今後も在校生のみならず、OB・OGの活躍にも期待したい。

※最近のデザイン表現コース生の活躍  
全日本高校デザインコンペ2005(160作品中)

賞	作品名	氏名(敬称略)
最優秀作品賞	「白ちよおーの湖」	田中 優依
優秀作品賞 (デジタルデザイン部門)	「平和の木」	影山 由貴
銅賞 (キャラクターデザイン部門)	「ゆきだるま」	三村 藍

第17回全日本高校デザイン・イラスト展(応募総数3754点)

賞	作品名	氏名(敬称略)
努力賞	「ちいさな日本」	長友 達希
近畿地区敢闘賞	「少年の夢」	古川沙也加
近畿地区新人賞	「覚醒」	河井 舞
近畿地区新人賞	「乱れた日本」	林 美有

高校生ケータイフォトコンテスト2005(応募総数889点)

賞	作品名	氏名(敬称略)
優秀賞	「思ひ出」	濱田那都子
ベスト20	「走る!!目玉おやじ」	大島真里奈
ベスト20	「幸福(しあわせ)」	菅 美津穂
ベスト100	「新世界」	吉田 有花



一期生の力作が並んだ



優しく光る手作り竹灯籠

## 瓢箪山でOBP生がイベント実施

平成18年2月10日、東大阪市内瓢箪山駅界隈において大商大生による瓢箪山地域活性化を目的としたイベントが開催された。そもそも本イベントは、大商大OBPコース(3回生)が東大阪市や大阪府の協力を得ながら、瓢箪山商店街と進めてきた「产学官連携プロジェクト」であり、その目的は町の中心にある同商店街に客足を戻すことで、町を元気にするというもの。昨年9月に大商大生がプレゼンテーションを行った商店街活性化企画(楽人23号参照)が、実を結んだことになる。当日はOBPコースの全学年生徒がスタッフとして協力し、また地域の小学校・保育園の協力のもと総勢260名もの児童が参加するなど、イベントは大いに賑わった。

### ①「ベント」詳細

#### ①ちびっこみこしバレー

瓢箪山駅線路を挟んで南北に通るアーケード商店街を、約一時間かけて往復。第一回目は縄手北小学校児童約80名、二回目は縄手小学校・白鳩保育園の児童約180名が参加した。

#### ②YAKOSAI(夜光祭)

瓢箪山駅南側の広場、通称「せせらぎ広場」において、300個の手づくり竹灯籠を並べ、児童の協力を得ながら午後6時に点灯。同時にライトアップされた巨大瓢箪オブジェが、ひととき商店街利用者の目を惹いた。

#### ③初夜市

瓢箪山駅北側商店街アーケード内にて、学生ならではのアットホームな露天を6店出展(フランクフルト・から揚げ・たこせん・イカ焼き・輪投げ・千本引き)。



威勢の良い声が飛んだ露店

# SECURITY



## 学校の安全を考える



園児を子供にもつ保護者対象の防犯教室の様子(大阪商業大学 蒼天にて)



園児の前で訓練を行なう先生

安

全かつ安心して生活できる社会は、我々にとって不可欠なもの。しかし事故、自然災害、悪質な犯罪による被害など、我々の周囲には日々危険が満ちており、日本の「安全神話」は崩壊したとも言われています。

そんな中、児童・学生たちが生涯にわたって安全に生きることができる資質・能力の育成(安全教育)と、同じく安全に学べる学校環境の確保が極めて重要な課題となっています。

(以下の解説は、大阪女子短期大学・大阪商業大学附属幼稚園で実施された防犯セミナー、「文部科学省の取組み・関連書籍等を参考にしています。)

楽人では「学校の安全」に関する課題を探り、その充実に向けた方策を紹介します。

不登校やいじめなどの問題が増大し、いじめによる自殺が各地で起きました。また最近は小中学生が他の児童を殺傷するという過去類を見ない事件も起きたことでも予測しなければならない時代に入りました。

**■多様化する学校の危機**

従来の学校安全の考え方では、学校教育に見られる「健康、安全で幸福な生業」による被害など、我々の周囲には日々危険が満ちており、日本の「安全神話」は崩壊したとも言われています。

そんな中、児童・学生たちが生涯にわたって安全に生きることができる資質・能力の育成(安全教育)と、同じく安全に学べる学校環境の確保が極めて重要な課題となっています。

(以下の解説は、大阪女子短期大学・大阪商業大学附属幼稚園で実施された防犯セミナー、「文部科学省の取組み・関連書籍等を参考にしています。)

1980年代になると校内暴力や非行、校火災・施設事故、実験や実習などの授業中の事故予防などが主でした。しかしとされていました。内容は交通安全・学活のために必要な習慣を養い、心身の調和的発達を図ること(第18条第7項)とされました。内容は交通安全・学活のために必要な習慣を養い、心身の調和的発達を図ること(第18条第7項)とされました。内容は交通安全・学

### ■多様化する学校の危機

#### ⑤危機管理は全教職員で

危機管理は安全教育と同様に、全教職員で行なうものです。家庭・地域との連携・関係機関・団体との関連強化も全教職員で行わなければなりません。

#### ⑥学校への信頼を得る

危機に際して、児童・生徒の安全を守り的確に対処することは、危機の回避とともに保護者や地域の人たちへの信頼を維持することにつながります。

#### ⑦説明責任

危機の発生と対応について、教育委員会等への報告等は怠ってはなりません。また、事件詳細および後の児童・生徒のメンタルケアに至るまでも、保護者や地域に説明を行うことが大切です。

### ■安全教育の充実を

先に述べたように、学校の危機は多様化しており、「安全教育とは何か?」を言で表現することは出来ません。そこで、特に今重要視されている安全教育は「生徒が被害者にも加害者にもならないための教育」になります。家庭や地域からの、教育課程で自己の命や死の重みを取り上げての教育を求める声も増えており、文部科学省も望ましい人間関係をつくるための指導推進や、社会性を育む

危機的状況が発生した場合、被害を最低限に食い止めなければなりません。そのための訓練等は大切であり、状況設定のバリエーションが豊富なほど効果があります。

③最悪の事態・状況を考える  
教育・指導・訓練・演習に関しては、最も悪の事態・状況を予想しなければなりません。

④マニアカル!安心ではない  
危機管理と聞くと、マニアカルを求める声が多くあります。有効適切なマニアカルの作成は危機発生に備えて大事なことであり、最高の対応が出来る筋書きになります。しかし危機がマニアカル通りに発生することは限らず、マニアカルに即しながらも臨機応変な対応が求められます。

### ■地域や関連機関との連携も視野に

児童・生徒の安全を確保するにあたって、守られる対象(児童・生徒)に対し、守る側(教職員)の数が少ないと、登下校時の安全確保をどうするかなどの課題にも対処しなければなりません。そ

なると、地域社会や関連団体とのつながりがあります。必要になってしまいます。

地域社会のサポートを得ながら安全を主張することなく、持ち持たれつ"の関係維持に努めなければなりません。「学

域が地域に君臨している」のではなく「地

域の中の学校である」とことを意識し、互

に貢献しあえる「学校と地域のセーフティネット」の構築を目指す必要があります。

学校の都合」だけを主張する「ことなく、持ち持たれつ"の関係維持に努めなければなりません。「学

域が地域に君臨している」のではなく「地

域の中の学校である」とことを意識し、互

に貢献しあえる「学校と地域のセーフ

ティネット」の構築を目指す必要があ

ります。

域が地域に君臨している」のではなく「地

域の中の学校である」とことを意識し、互

&lt;p

## 編集後記

現在、巷では脳年齢チェックなるものが流行っているようです。ポータブルゲームなどでも、脳を鍛えて活性化させるといった類のソフトが怒濤の売れ行きを見せているようではずかしながら購買意欲をかきたてられています。(かなりの人気で、市場に出る前に完売という奇跡的現象も起こっているようです)しかし世の中便利なもので、インターネット検索していると「無料脳年齢チェック」なるものを発見。老朽化する自身の前頭葉にムチをふるい、果敢に挑んでみました。結果は実年齢よりも6歳上という、人に話すのも恥ずかしいらばっしーない、中途半端な結果でした。

その後急にパソコンの画面が変わったと思ったら、脳活性化ツール(IQアップテキスト・速読速聴訓練CD等)の販売サイトが目の前に飛び込んできました。この販売方法どこかで…と思いつ返せば、脳年齢チェックを無料で行い、化粧品などの販売に繋げるアンチエイジングショップに似ていました。確かに脳年齢の若返りなので『アンチエイジング=加齢への抵抗』と考えれば納得です。しかし「買わないあなたは、普通の脳」「ここでライバルに差をつけよう!」などという、自尊心を傷つけ嫉妬心をあおるメッセージにナーブな私の神経は憔悴したので、今回は購入に至りませんでした。

最近は書店などでも、この手の本はたくさん出版されているようです。皆さんもぜひチャレンジされてみてはいかがでしょうか。

## 例題 「一昨日の夕食のメニューは?」

この問題に即答できたら、なかなかの脳らしいです。私は10分ほど悶絶し、何とか思い出せました。

## 本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

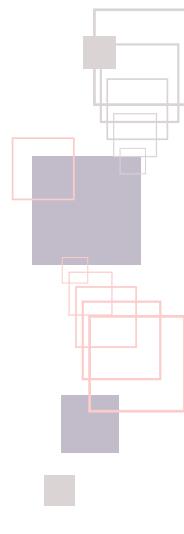
個人情報取扱業者の名称及び氏名:  
学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問合せ窓口  
学校法人谷岡学園 法人本部 総務課  
個人情報取扱係  
電話:06-6781-0385

大阪商業大学助教授  
学生カウンセラー  
佐野 茂

# 現代「居場所」考

あなたは「居場所」がありますか?



## 「居場所」の重要性

心の「居場所」の有無は社会生活を営む全ての人の問題です。社会生活の場で居場所が無かったり、自分の居場所が無い空間に長時間、継続的に身を置くと、心の健康度は低下し、重篤な場合は人格を歪めます。とりわけ人間関係の取り方が未熟な子ども、学生、若い母親にとっては学校絡みのフォーマル、インフォーマル場での居場所の有無は重要な課題です。不登校や引きこもりの多くは、学校生活での居場所の有無と強い関連があると思います。また、母親になつても、子ども絡みの母親グループ仲間での居場所の確保は、わが子の成長にも関係する重要な関心事です。ここでの居場所の喪失は、想像を超えた心の負担をいたします。このような現状から、学校、行政にとって、子ども達が安心して過ごせる「居場所」をいかに創出するかが今日的な課題になっています。

## 「居場所」づくりのポイント

ところで「居場所」という用語からどのようなイメージが浮かぶでしょうか。「安心感」「ホッとする」「遠慮が要らない」「主体的にふるまえる」等様々な答えが返ってきますが、集約しますと「自分を好意的に評価し、受け入れ、理解してくれる人が存在している空間」ということになります。どれだけ立派な器が用意されていても、そこに自分を受け入れ、理解してくれる人が存在しなければ、それは「居場所」にならないということです。つまり、居場所を創出する側として最も大切なことは、用意した空間、時間において人的な目配り、心配りが、参加した(させた)人達にどれだけ徹底できるかということです。

このことを逆説的に言うと、目配り・心配りできないグループ活動の場はあえてつくらないということでもあります。与えられたグループに居場所がもてなかつた時の疎外感、孤独感はどれ程大きいかということで、生半可な集団、グループ活動の強制は、教育的であったはずの活動が、最も非教育的活動に転化する可能性があります。

## 受身的な「居場所」から、主体的な「居場所」へ

また、居場所を与えられる側についていえば、いつまでも「居場所」を与えられているということではなく、いずれは主体的に自分達の方から「居場所」を創造していく必要があります。受身的な「居場所」に安住する限り、真の「居場所」は見出せません。その意味で、主体的な参加をうながす工夫も必要で、様々な役割を付与して、居場所を与えられる側から、居場所を創出する側に引き込むもの一つの方法です。

いずれにせよ、人生を楽しく健康的に生きるためにには、様々な集団場面での居場所が必要です。そして、主体的に集団にかかわろうとする時、そこにあるあなたの「居場所」を見出せるかもしれません。

## 学校法人 谷岡学園

Phone:06-6781-0385

大阪商業大学・大学院  
神戸芸術工科大学・大学院  
大阪女子短期大学  
大阪女子短期大学高等学校  
大阪商業大学高等学校  
大阪商業大学附属幼稚園

<http://www.daishodai.ac.jp>(3月末まで)  
(4月から<http://ouc.daishodai.ac.jp>)  
<http://www.kobe-du.ac.jp>  
<http://www.owjc.jp>  
<http://www.osakajyosi-h.ed.jp>  
<http://www.daishodai-h.ed.jp>  
Phone:06-6782-1600

## 姉妹法人 清陵学園

Phone:072-278-2252

大阪商業大学堺高等学校  
学校法人 中京女子大学  
中京女子大学・大学院  
中京女子大学短期大学部  
至学館高等学校  
中京女子大学附属幼稚園

<http://www.shodaisakai.ac.jp>  
Phone:0562-46-1291  
<http://www.chujo-u.ac.jp>  
<http://www.chujo-u.ac.jp>  
<http://www.shigakukan-h.ed.jp>  
Phone:0562-46-1294